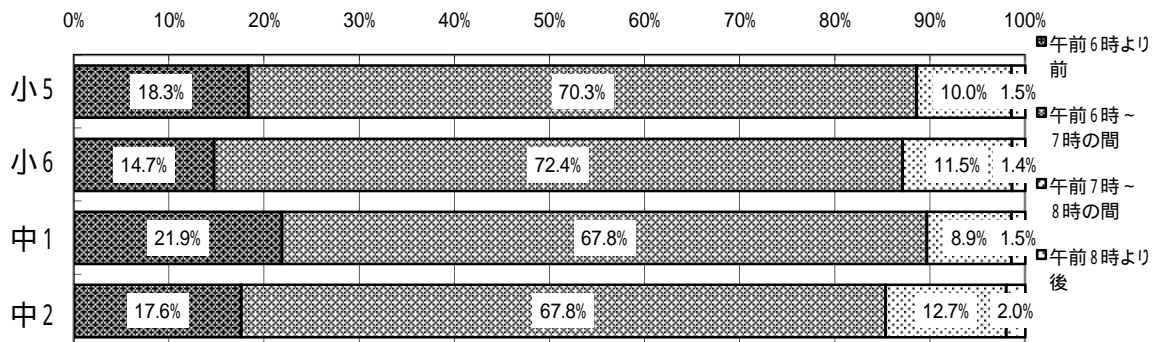


## 11 平日は何時に起きていますか。

	小5年	小6年	中1年	中2年
午前6時より前	18.3%	14.7%	21.9%	17.6%
午前6時～7時の間	70.3%	72.4%	67.8%	67.8%
午前7時～8時の間	10.0%	11.5%	8.9%	12.7%
午前8時より後	1.5%	1.4%	1.5%	2.0%



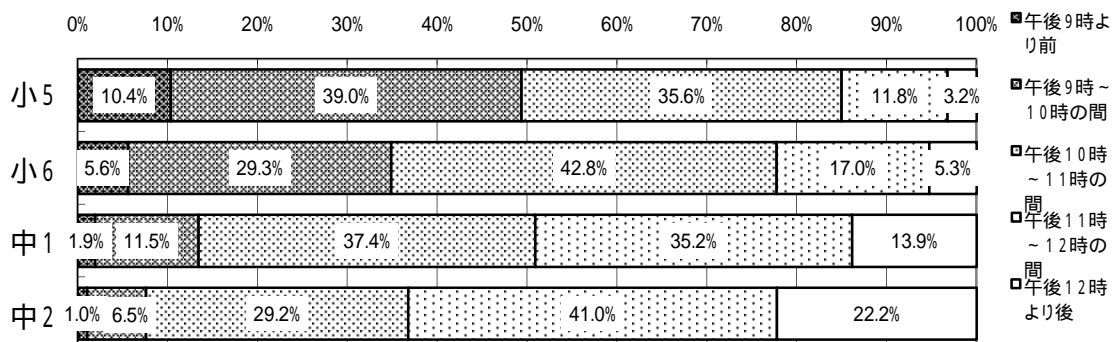
### 8割を上回る児童生徒が、午前7時前に起きている。

全体としての傾向は昨年度とほぼ同様である。学年によって多少差は見られるが、午前6時より前に起きている児童生徒が、2割程度いる。また、午前7時より前に起きている児童生徒(午前6時より前に起きている児童生徒も含む)は、8割を上回っている。一方、午前8時より後に起きる児童生徒は、どの学年においても、全体の1～2%程度いる。

今後は、より一層保護者との連携を図り、必要に応じて、その家庭全体の生活リズムを見つめ直すよう働きかけることも大切である。また、午前8時以降に起床するなど基本的な生活習慣に乱れがみられる児童生徒については、保護者との連絡を密にし、個に応じた指導を継続的に行う必要がある。

## 12 平日は何時に寝ていますか。

	小5年	小6年	中1年	中2年
午後9時より前	10.4%	5.6%	1.9%	1.0%
午後9時～10時の間	39.0%	29.3%	11.5%	6.5%
午後10時～11時の間	35.6%	42.8%	37.4%	29.2%
午後11時～12時の間	11.8%	17.0%	35.2%	41.0%
午後12時より後	3.2%	5.3%	13.9%	22.2%



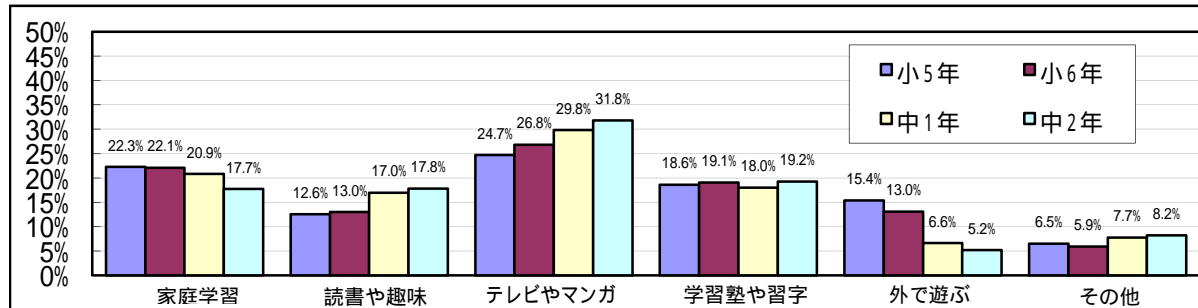
### 2割程度の児童、5割以上の生徒が午後11時以降に就寝している。

全体としての傾向は昨年度とほぼ同様であり、小5では、5割程度の児童が午後10時までには就寝するが、小6になると3割程度に減少している。中学生になると就寝時刻が急激に遅くなり、午後11時以降に就寝する生徒は、中1では5割程度であり、中2で6割を上回る。特に、午後12時以降に就寝する児童が小6では5%程度おり、その後急増し、中2になると4人に1人が12時以降まで起きている。

今後は、小学校低学年の段階から、望ましい基本的な生活習慣づくりについて、児童生徒や保護者に「心身の発達にとって、望ましい起床・就寝時刻、睡眠時間」などを具体的に考えさせるよう指導することが必要である。また、就寝時刻が遅かったり、不規則であったりするような様子がみられる児童生徒については、保護者との連携を図り、家庭が児童生徒の生活をしっかりと支えることができるよう指導する必要がある。

13(1) 平日に家に帰ってから何をしていますか。

	小5年	小6年	中1年	中2年
家庭学習	22.3%	22.1%	20.9%	17.7%
読書や趣味	12.6%	13.0%	17.0%	17.8%
テレビやマンガを見たり、ゲームをしたりする	24.7%	26.8%	29.8%	31.8%
学習塾や習字、音楽、スポーツなどの習い事	18.6%	19.1%	18.0%	19.2%
外で遊ぶ	15.4%	13.0%	6.6%	5.2%
その他	6.5%	5.9%	7.7%	8.2%

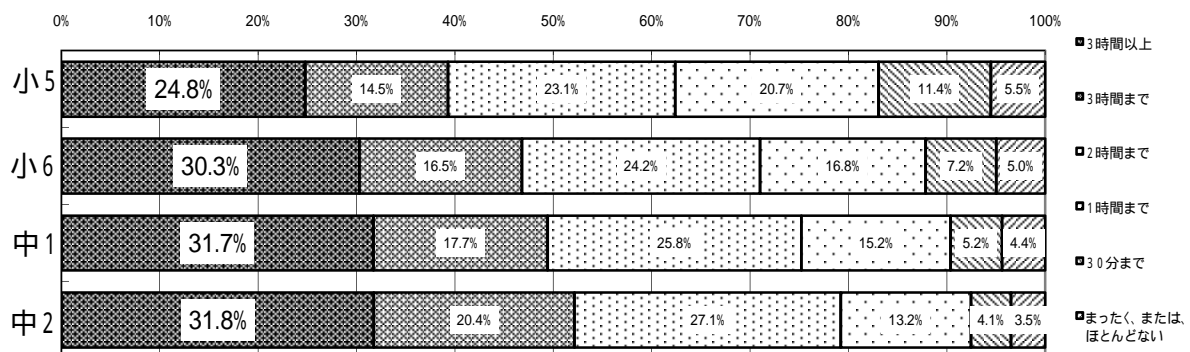


3割の児童生徒が、平日に家に帰ってからテレビやマンガを見たり、ゲームをしたりしている。

児童生徒が、平日に家に帰ってから行うことで、最も多いのがテレビやマンガを見たり、ゲームをしたりすることであり、どの学年も2～3割程度である。また、この割合は学年が進むにつれて増加している。次に多いのが、家庭学習であり、どの学年においても、2割程度の児童生徒が選択している。また、読書や趣味は学年が進むにつれて増加しているが、外で遊ぶことは学年が進むにつれて減少している。また、昨年度に比べて特に、学習塾や習字、音楽、スポーツなどの習い事を行う割合がどの学年も2～3%増加している。今後は、学年の発達段階や地域の状況を踏まえ、屋外で遊ぶことについて考えさせたり、地域の行事などに参加するよう助言したり、読書等にあてる時間を増やしたりするなど、家庭において、一層充実した生活が過ごせるよう働きかける必要がある。

13(2) 平日に家でテレビを見たり、コンピュータゲームやパソコンなどを使って遊んだりする時間はどのくらいですか。

	小5年	小6年	中1年	中2年
3時間以上	24.8%	30.3%	31.7%	31.8%
3時間まで	14.5%	16.5%	17.7%	20.4%
2時間まで	23.1%	24.2%	25.8%	27.1%
1時間まで	20.7%	16.8%	15.2%	13.2%
30分まで	11.4%	7.2%	5.2%	4.1%
まったく、または、ほとんどない	5.5%	5.0%	4.4%	3.5%

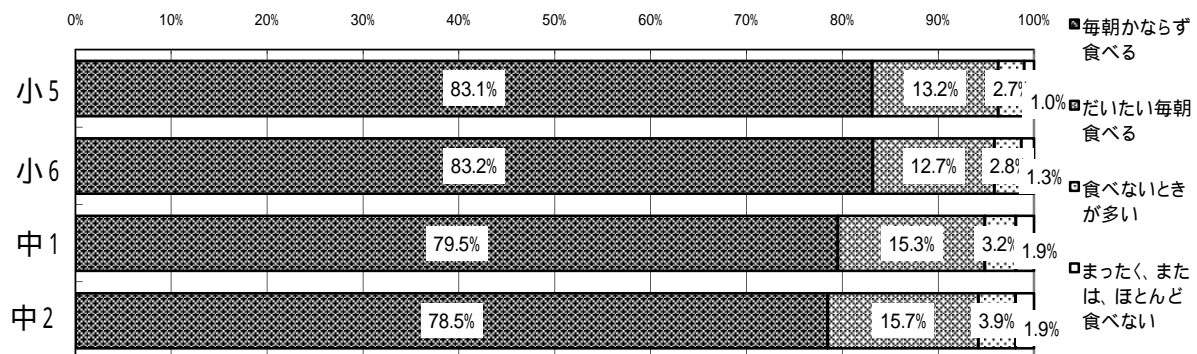


3割の児童生徒が、平日に3時間以上、テレビを見たり、ゲームなどを使って遊んだりしている。

平日に3時間以上、テレビを見たり、ゲームなどで遊んでいる児童生徒は3割程度である。2時間以上(3時間以上の児童生徒も含む)になると小5で4割程度、小6以上の学年になると5割弱である。「1時間まで」は、小5では3割であるが、学年が進むにつれて、減少している。「まったく、または、ほとんどない」児童生徒は、どの学年でも全体の5%程度である。また、昨年度に比べ「3時間以上」の割合が、小学校で3%程度減少しているが、中学校では同程度である。今後は、1日の生活の中で、テレビを見たり、ゲームなどで遊んだりする時間として、どの程度の時間が望ましいのかを自分で考えさせるなど、家庭において計画的に生活することを指導し、自分で自分の生活を律していく力を高めていくことが必要である。また、コンピュータ、特にインターネットの利用などについて、望ましい活用の仕方を保護者の理解も進めたくうえで指導していく必要がある。

## 14 毎朝、朝ごはんを食べていますか。

	小5年	小6年	中1年	中2年
毎朝かならず食べる	83.1%	83.2%	79.5%	78.5%
だいたい毎朝食べる	13.2%	12.7%	15.3%	15.7%
食べないときが多い	2.7%	2.8%	3.2%	3.9%
まったく、または、ほとんど食べない	1.0%	1.3%	1.9%	1.9%



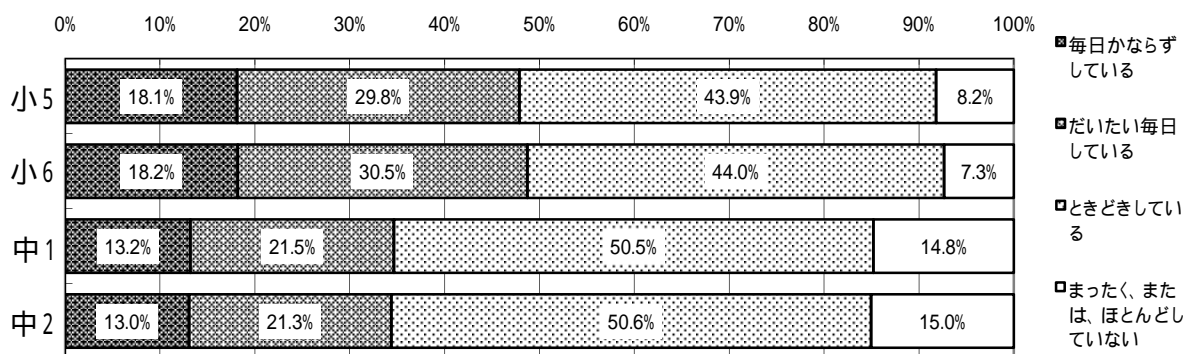
### 9割以上の児童生徒が、朝食をとっている。

全体としての傾向は昨年度とほぼ同様であり、「毎朝かならず食べる」「だいたい毎朝食べる」児童生徒の割合は、どの学年においても9割を上回っている。特に、「毎朝かならず食べる」児童生徒の割合は、8割程度である。一方、「食べないときが多い」「まったく、または、ほとんど食べない」児童生徒の割合は全体の4～6%程度あり、学年が進むにつれて、その割合は増加している。

今後は、こうした「食べない」児童生徒を少なくするよう、家庭との連携を図り、朝食の必要性や家庭での食生活について指導する。また、栄養バランスのとれた朝食の内容という点に着目し、望ましい食生活についても考えていけるようにする。

## 15 家で、どのくらいお手伝いをしていますか。

	小5年	小6年	中1年	中2年
毎日かならずしている	18.1%	18.2%	13.2%	13.0%
だいたい毎日している	29.8%	30.5%	21.5%	21.3%
ときどきしている	43.9%	44.0%	50.5%	50.6%
まったく、または、ほとんどしていない	8.2%	7.3%	14.8%	15.0%



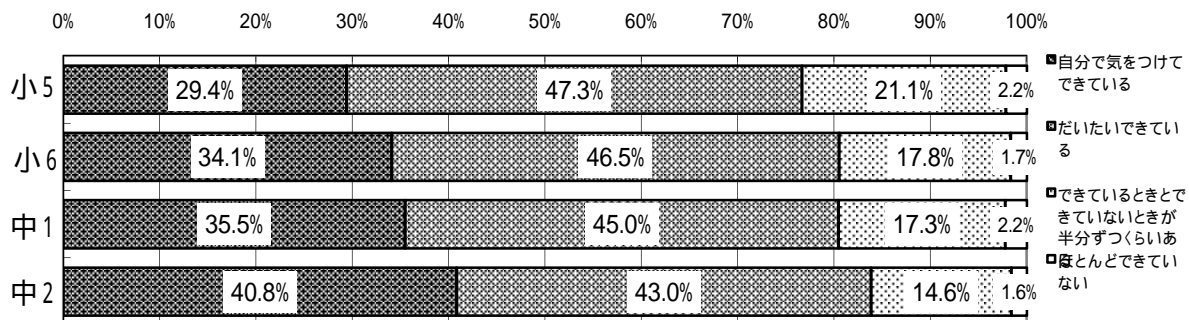
### 5割弱の児童、3割以上の生徒が、家で、毎日手伝いをしている。

家でのお手伝いを「毎日かならずしている」「だいたい毎日している」児童生徒の割合は、小学校では5割弱、中学校では3割を上回っており、昨年度に比べると特に小6では5%程度増加している。一方、「まったく、または、ほとんどしていない」児童生徒の割合は、小学校では1割弱、中学校では1割を上回っており、ほぼ昨年度と同程度である。

今後は、進んで手伝いに取り組み、自己の有用感、存在感を感じることを味わうことができるよう、家庭での役割をもつことや、発達段階に応じた手伝いの在り方について考えさせることが必要である。また、「お手伝いをする子どもは道徳観・正義感が身に付いている傾向が見られる」という調査結果(H10子どもの体験活動等に関するアンケート調査結果)を踏まえ、家庭においても、手伝いなどによって責任を果たすことの大切さを考えさせたり、手伝いを通じて子どもとのコミュニケーションを深めたりできるよう働きかける。

16 明日の学校の準備をすることや、好き・きらいを言わないで食べること、歯みがきや手洗いなどをするについて、自分のことは自分で気をつけてできていますか。

	小5年	小6年	中1年	中2年
自分で気をつけてできている	29.4%	34.1%	35.5%	40.8%
だいたいできている	47.3%	46.5%	45.0%	43.0%
できているときとできていないときが半分ずつくらいある	21.1%	17.8%	17.3%	14.6%
ほとんどできていない	2.2%	1.7%	2.2%	1.6%

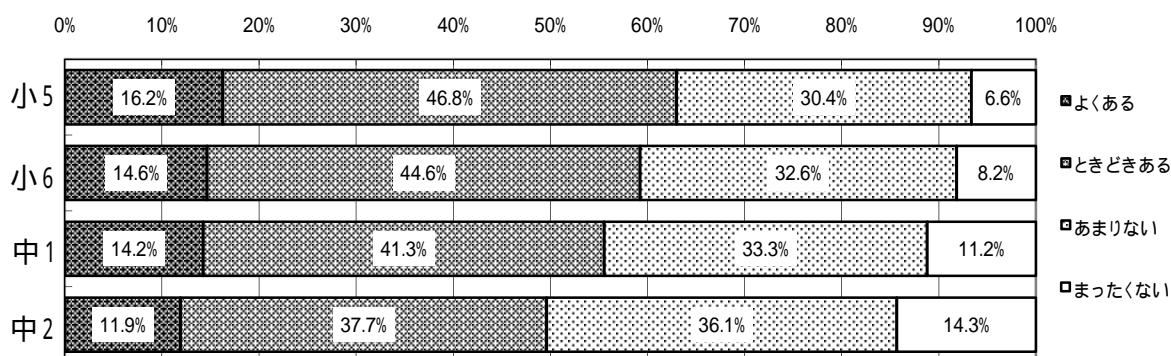


8割程度の児童生徒が、自分のことは自分で気をつけてできているととらえている。

全体としての傾向は昨年度とほぼ同様であり、「自分で気をつけてできている」と答えた児童生徒の割合は、小学校では3割程度、中学校では4割程度である。また、「だいたいできている」を含めると、児童生徒の8割程度が自分のことは自分でできているととらえている。学年が進むにつれて、これらの割合が増加している。今後は、「よりできるようにしていこう」「できることをさらに増やしていこう」といった意欲をもてるよう指導することが大切である。また、「ほとんどできていない」児童生徒についても、「少しでもできるようになったこと」を認め、自らの生活を律する意欲をもたせていくことが必要である。

17 明日の学校の準備をすることや、好き・きらいを言わないで食べること、歯みがきや手洗いなどをするについて、家の人から気をつけるよう、声をかけられたり、注意されたりすることがありますか。

	小5年	小6年	中1年	中2年
よくある	16.2%	14.6%	14.2%	11.9%
ときどきある	46.8%	44.6%	41.3%	37.7%
あまりない	30.4%	32.6%	33.3%	36.1%
まったくない	6.6%	8.2%	11.2%	14.3%

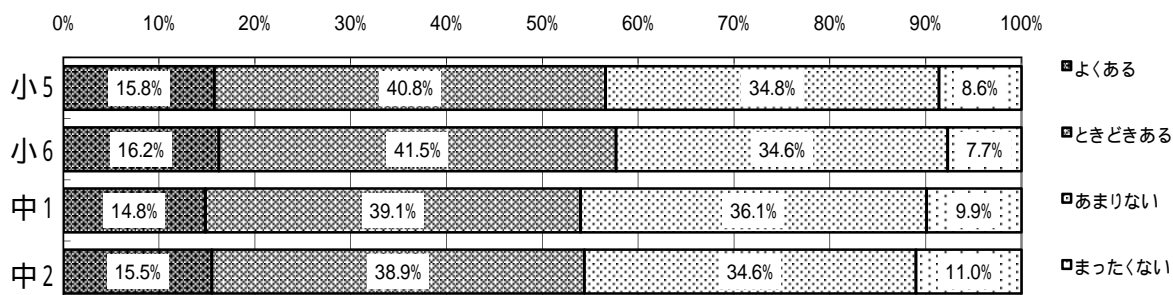


6割程度の児童、5割程度の生徒が、自分のことは自分でするよう声をかけられたり、注意されたりしている。

全体としての傾向は昨年度とほぼ同様であり、どの学年においても「よくある」と答えた児童生徒の割合が、1割を上回っている。また、「ときどきある」を含めると、児童の6割程度、生徒の5割程度が、家の人から声をかけられたり、注意されたりしている。学年が進むにつれて、これらの割合が減少している。これは、学年が進むにつれて、自分でできるようになったり、保護者が基本的な生活習慣については声をかける必要がないと判断したりしているからであると考えられる。今後も、こうした生活習慣が確実に身に付くよう小学校の低学年段階から指導するとともに、「自分のことは自分でできるようになった」成長を認め、励まして、自主的に取り組んでいくことができるようになる必要がある。

18 あいさつやお礼を言うこと、きちんとした言葉づかいに気をつけることや服そうを整えること、約束を守ることなどについて、家の人から気をつけるよう、声をかけられり、注意されたりすることがありますか。

	小5年	小6年	中1年	中2年
よくある	15.8%	16.2%	14.8%	15.5%
ときどきある	40.8%	41.5%	39.1%	38.9%
あまりない	34.8%	34.6%	36.1%	34.6%
まったくない	8.6%	7.7%	9.9%	11.0%

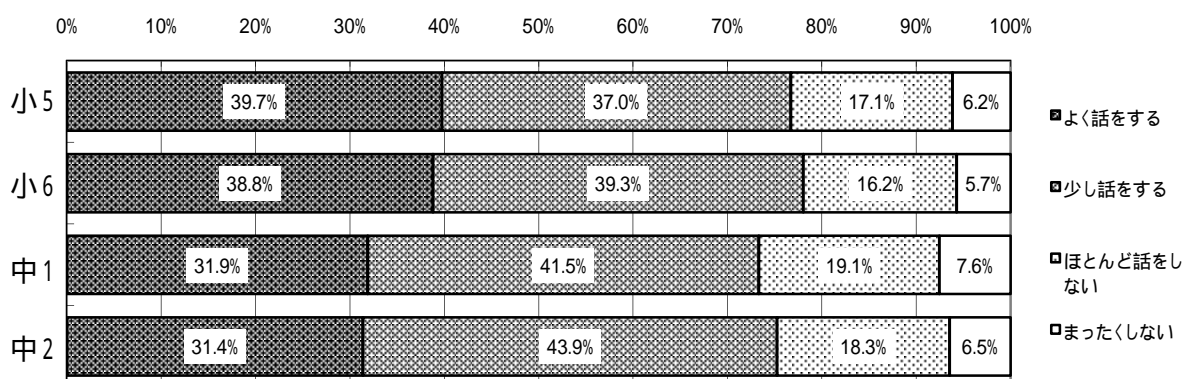


5割以上の児童生徒が、「あいさつやお礼」「言葉づかいや服装」「約束を守ること」について家の人から声をかけられたり、注意されたりしている。

どの学年においても「よくある」と答えた児童生徒の割合が、1割を上回っている。また、「ときどきある」を含めると、5割以上が家の人から気をつけるよう、声をかけられたり、注意されたりしている。中学生になると、これらの割合がやや減少している。前年度と比べると、「よくある」「ときどきある」と答えた児童生徒が、特に中学校で2%程度増加している。これは、家庭において「望ましい姿」について話し合い、考えていこう働きかけがなされてきている成果とらえることができる。今後とも、社会生活を営む上での、マナーやモラルが児童生徒に身に付くよう、学校や家庭において継続して指導することが必要である。

19 家の人と趣味や遊びのこと、進路や将来の仕事や生活、学校でのできごとや友だちのことなどについて、一緒に話をすることはありますか。

	小5年	小6年	中1年	中2年
よく話をする	39.7%	38.8%	31.9%	31.4%
少し話をする	37.0%	39.3%	41.5%	43.9%
ほとんど話をしない	17.1%	16.2%	19.1%	18.3%
まったくしない	6.2%	5.7%	7.6%	6.5%



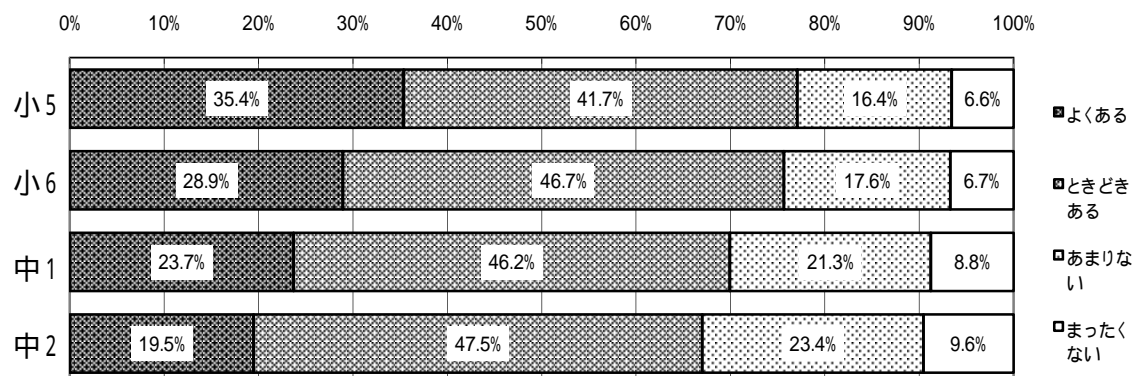
4割程度の児童、3割程度の生徒が、家の人とよく話をしている。

家の人と「よく話をする」と答えた児童は、小5では約4割であるが、小6では4割を下回り、中1、中2と学年が進むにつれて、割合が減少する。「少し話をする」を含めた割合は、小学校では8割程度、中学校では7割を上回る。「ほとんど話をしない」と答えた割合は、中学生では2割程度である。また、どの学年にも「まったく話をしない」児童生徒が1割未満いる。昨年度と比べると家の人と「よく話をする」「少し話をする」と答えた児童生徒が、小6で1%、中2で3%増加していることから、家庭において、互いの理解を深めるような働きかけがなされてきていると考えられる。

今後とも、学校のことや友だちのことだけでなく、趣味や進路など、様々な面から家庭において話し合い、子どもの考えや状況を保護者が把握し、子ども理解に努め、ふれあいの時間を多くもてるよう働きかけることが必要である。

20 勉強やスポーツ、習い事などでがんばっているときに、家の人からほめられたり、はげめされたりすることがありますか。

	小5年	小6年	中1年	中2年
よくある	35.4%	28.9%	23.7%	19.5%
ときどきある	41.7%	46.7%	46.2%	47.5%
あまりない	16.4%	17.6%	21.3%	23.4%
まったくない	6.6%	6.7%	8.8%	9.6%



8割弱程度の児童、7割程度の生徒が、家の人からほめられたりはげめされたりしている。

(H19新設)

家の人からほめられたりはげめされたりすることが「よくある」と答えた児童は、小5では4割弱であるが、小6では3割を下回り、中1、中2と学年が進むにつれて、割合が減少する。「ときどきある」を含めた割合は、小学校では8割弱程度、中学校では7割程度である。「あまりない」と答えた割合は、中学生では2割程度である。また、どの学年にも「まったくない」児童生徒が1割未満いる。

学校での学習の成果のみならず、部活動や習い事などでの努力の過程や、日常生活の中で本人が心がけていることなどについて、ほんの少しの成長を見届けて、認め励ますことで、本人の自信を育てていくような温かい家庭での働きかけを今後とも啓発していく必要がある。